

Food/AgriTech Seed Acceleration Program
参加スタートアップ
募集要項

【募集期間】

2025年2月3日(月)～2月28日(金)17:00

【応募フォーム】

- [応募フォーム](#)
- 本募集要項を読んだ上で、上記のフォームからご応募ください。

【事務局】

Tokyo Food Institute
CIC Institute
Basque Culinary Center

1. 趣旨

一般社団法人TOKYO FOOD INSTITUTE及びCIC Institute、Basque Culinary Centerの「グローバルFOODイノベーションコミュニティ」を構築する共同プロジェクトは東京都「SUTEAM(多様な主体によるスタートアップ支援展開事業)」に採択されました。本プロジェクトでは、新たな食の価値を創出するための取り組みとして、食の未来を創る事業・人材育成により国内外の様々なプレイヤーの共創を生む食のエコシステムを構築し、持続可能な社会の実現や人々の暮らしを豊かにするための活動を推進していきます。本プロジェクトの一環として、「Food/AgriTech Seed Acceleration Program」を実施しますので、本募集要項に基づき支援対象となるスタートアップを公募致します。スタートアップは採択されたプログラムの内容に沿って、ビジネス拡大や国内外での協業を目指します。

2. 支援内容・期間

Food/AgriTech Seed Acceleration Programにおいては、事業成長や国内事業会社との協業を支援する「国内プログラム」と、スペイン・バスク地方のシェフや研究者等、ガストロノミー領域のプレイヤーとの接続により商品化に向けた技術開発支援と海外展開を支援する「海外プログラム」を実施します。応募者は申込時に希望するプログラムを選択してください(両方のプログラムに応募することも可能です。)

(1) 国内プログラム(運営事務局:CIC Institute)

(ア) ゴール設定・キックオフ面談(個別)

プログラム開始時に、初回面談を実施し、期間中に達成すべきゴールと必要なアクションを設定します。

(イ) 伴走メンタリング(個別)

2週間に1回程度のペースを原則としてメンタリングを実施します。

(ウ) 専門メンタリング(個別)

各社のニーズにあわせて、最大月2回各産業の専門家、技術の専門家、土業とのメンタリングの機会を設定します。

(エ) 事業成長セミナー(合同)

- 事業成長に必要な、基本的な事項(資金調達、法務、知財、人材採用、規制、エコシステム、マーケティング等)に関するセミナーを実施します。
- 英語ピッチトレーニング
グローバル市場への展開を念頭に、英語でのピッチトレーニングを実施します。

(オ) 交流会及び中間発表会・DEMO DAY(合同)

①事業会社・投資家とのマッチング、②採択スタートアップ同士の横の関係の構築、③複数のメンターからのフィードバックの機会を目的として交流会、中間発表会及びDEMO DAYを実施します。

(カ) 事業会社とのマッチング

採択スタートアップとの事業連携に関心のある企業を募集し、面談を設定します。その上で、具体的な実証内容の検討、計画策定に向けた伴走支援を行います。

(2) 海外プログラム(運営事務局:Basque Culinary Center(以下BCC))

(ア) キックオフイベント(合同)

4月18日頃(未定)プログラム開始時に、Gastronomy Innovation Campus Tokyo施設で2日間のキックオフイベントを実施します。BCCを中心としたエコシステムの紹介や、採択スタートアップによるピッチ(VC等コメンテーターによるフィードバックを予定)を行います。

(イ) 専門メンタリング(個別)

5月19日から20日にスペイン・BCCにおいて、スペインのガストロノミー領域の専門家、政府機関、VC等の専門家による事業成長に必要なビジネスモデルや販売アプローチ、ピッチ内容等に関するメンタリングの機会を提供します。

(ウ) アクセラレーション(個別)

BCCのR&Dセンターに所属するフードテック技術、デザイン、官能分析、消費者認知、製品テストの専門家による20時間の教育プログラム・メンタリングを提供します。また、レストラ

ンエコシステムを形成するプレイヤーからフィードバックを得て、技術・製品改善に向けた計画策定支援を実施します。

(エ) インスピレーション・現地研修(合同)

2025年秋(10月頃を予定)に開業するBCCの新施設「ガストロノミー・オープン・エコシステム(GOe)*」への訪問機会を提供します。

*バスク政府の経済開発局、ギプスコア州議会、ドノスティア・サン・セバスティアン市議会が支援する共同戦略のもと、バスク料理センターが主導するプロジェクトで、ガストロノミーと食の未来に向けた課題に取り組みます。ドノスティア・サン・セバスティアンの中心部、グロス地区に位置するこの施設は、ガストロノミーにおける科学的探究と革新のための国際的なハブとして登場し、研究、研修、起業活動を主催するほか、市民のための新鮮な共同スペースを提供する、新たな社会的結節点としての役割も果たしていきます。

(オ) DEMO DAY(合同)

2025年秋(11月頃を予定)採択スタートアップによるピッチ(プログラムの成果発表)を行い、投資家・事業会社・大学等研究機関・政府関係者とのマッチング、ネットワーキングの機会を提供します。

(カ) 実装機会の提供(未定)

2025年冬、上記アクセラプログラムを経て、運営者が認めるスタートアップについては、Basque Culinary Centerでのポップアップなど、実装機会を提供を検討します。

(3) 支援期間

国内プログラム:2025年4月1日(火)~2025年6月30日(月)

海外プログラム:2025年4月15日(火)~2025年12月15日(月)

(4) 参加費

無料

※プログラム参加に伴う通信費、プログラムに使用する資料、イベントに参加する際の旅費など、本事業への参加に当たり発生する諸費用は、各応募者において負担していただきます。

※海外プログラムについては、別途、スペインへの渡航費用相当として、規定の金額を1回補助予定。

3. 応募資格

(1) 国内プログラム

以下の全ての要件を満たす法人又は個人とします。

- 領域:低環境負荷の革新的な食糧生産技術を有し、新たな食の価値を創造しえるスタートアップ又は研究者であり、事業会社等との連携が見込まれる者
- 商業登記済みであること。(ただし、大学等研究機関に所属する応募者は、未登記でも可)。
- 所在地:東京都の事業所があるもしくは事業所を設ける計画があること
- ステージ:創業後概ね20年以内。スタートアップ的な急成長を目指す事業であること。
- コンプライアンス:次のいずれにも該当しないこと
 - 破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者
 - 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第32条第1項各号に掲げる者
 - 民法第90条に定める公序良俗に反しない事業及び企業体であること

(2) 海外プログラム

- 国内プログラムの要件に加え、ビジネスレベルの英語力を有していること(英語での商談が可能であること)

4. 採択件数

国内・海外それぞれ3社程度

5. 募集の流れ・応募方法(両プログラム共通)

(1) スケジュール(予定)

ア. 募集期間

2025年2月3日(月)～2月28日(金)23:59

イ. 受付締切

2025年2月28日(金)23:59

ウ. 書類審査

2025年3月上旬

エ. 面接審査

2025年3月中旬

オ. 採択スタートアップ決定・通知

2025年3月下旬頃に通知

カ. 支援開始

国内プログラム:2025年4月1日(火)～2025年6月30日(月)

海外プログラム:2025年4月15日(火)～2025年12月15日(月)

(2) 応募方法

応募は原則としてGoogleフォームにてご登録いただきます。(締切 2月28日(金)23:59)

ア. Food/AgriTech Seed Acceleration Program [応募フォーム](#)

イ. 項目

(ア) 応募条件の了承

(イ) 応募者するプログラム

(ウ) 応募者について

(エ) 応募者の事業と技術について ※次の事項を含むファイルの提出。

a. ピッチ資料(国内プログラム応募者は日本語、海外プログラム応募者は英語で提出して下さい)

- ①応募者の概要、②取り組む社会課題、③提供するソリューション・プロダクト、④市場、⑤コア技術と競合優位性、⑥事業計画(収支計画等の数値計画)、⑦連携を希望する企業(これまでの連携状況を含む)、⑧応募事業の実施体制等が分かるスライド(20枚以下)。PPTXまたはPDF形式で作成し、応募フォームからアップロードしてください。

- このピッチ資料は書類審査用です。書類審査を通過した後、面接審査を予定しています。

(オ) 担当者について

(カ) その他

Googleフォームが利用できない場合に限り、メールでの応募を受付いたします。下記事務局にお問い合わせください。

(3) 審査基準

ア. 社会・環境課題への貢献

解決しようとしている課題は、環境課題の解決に寄与するか、また課題に対するアプローチは正しいか

イ. 技術優位性

高い技術力を有しているか、技術に新規性・競合優位性はあるか、技術を活用するのに必要な知的財産は確保されているか

ウ. 市場

対象としている市場規模は大きいか

エ. ビジネスモデル

スケールするビジネスモデルを組み立てているか、その実現性は高いか

オ. チーム

計画を実施するためのコアとなるチームが揃っているか、競争力のあるチームか

カ. 技術の成熟度

プロトタイプのパフォーマンス確認が完了しており、事業会社との実証が可能であるか

キ. 海外展開の可能性(海外プログラムのみ)

海外展開の意欲を有しているとともに、海外展開の実現可能性があるか

6. 応募に係る留意事項

- 本事業に採択された全てのスタートアップ及び個人は、①事務局の求めに応じた状況の報告・アンケートへの回答、②プログラムの面談、メンタリング、セミナー、ピッチトレーニング、イベント等への参加が必須となります。
- 応募に際してかかる経費等は、応募者ご自身の負担となります。手数料等はかかりません。
- 応募内容に不備がある場合、審査できないことがありますのでご注意ください。
- 応募内容の確認、追加資料のお願いなど事務局から応募者に対してご連絡することがあります。
- 特許の出願状況や大学等の研究機関からのライセンス契約等について、事実確認のためにエビデンスの提出を依頼する可能性があります。
- 応募資料は書面審査にも使用されるものであり、資料内容によって審査が行われ、審査委員が資料から上記の項目内容が読み取れない場合においても審査対象外となることに十分にご留意ください。
- 未公開特許の情報や営業上の秘密などの機密情報等は応募資料へ記載しないようお願いいたします。

7. その他

(1) 当該事業の実施見合わせ等

事務局、採択スタートアップの責に帰すことのできない事由によって、当該事業の全部または一部が中止・中断された場合、これによって採択スタートアップに生じた損害について、事務局は一切責任を負いません。

(2) 参加申込後のキャンセル

参加申込後、やむを得ない事情によりキャンセルされる場合は、書面をもって所定の手続きを行ってください。なお、この場合、採択スタートアップに生ずる損害について、事務局は一切責任を負いません。

(3) 違反による参加の取りやめ

事務局は、採択スタートアップが本要項に違反した場合、参加を取りやめることができるものとします。この場合、採択スタートアップに生じた損害について、事務局は一切責任を負いません。

(4) 個人情報保護

事務局、事務局から委託を受けて本事業を実施する企業は、当該事業への応募においてご提出いただいた採択スタートアップの情報を適切に管理するとともに、当該事業のために共有・活用します。なお、当該事業により支援するスタートアップ及び製品の情報や各種写真等については、適宜公表しますので、予めご了承ください。

(5) アンケート等

当該事業の成果把握等のため、事務局が実施するアンケートにご回答ください。また、当該事業の終了後、定期的に、資金調達額や継続商談の状況等について、アンケートや電話等により聞き取りする際には、ご協力ください。

(6) 規定外事項

本要項に定めのない事項が発生した場合は、事務局、採択スタートアップで協議の上、その対策を決定するものとします。

8. 運営事務局

国内プログラム

[CIC Institute](#)

CIC Instituteとは、イノベーションエコシステム構築や、スタートアップ特にディープテック関連スタートアップの支援における知見を活かし、政府や地方自治体、大学などと連携しグローバルに成功を収めることのできるスタートアップの成長支援や、エコシステム構築業務を担うチームです。CIC Instituteは現在、多くの行政機関や大学関係のプロジェクトを遂行しており、エコシステムの発展やイノベーションを通じた経済発展に貢献をしています。今後とも、自治体等の行政機関や民間企業からの高まる需要に合わせ、より多くのプロジェクトを実行し、CIC Tokyoを含むCIC全体と緊密に連携しイノベーション創出を促進する部門として活動しています。

foodagri-program@cic.com

海外プログラム

[Tokyo Food Institute](#) (運営窓口)

一般社団法人 TOKYO FOOD INSTITUTE は、食に関する新規事業支援や人材育成を推進し、国内外の様々なプレイヤーの共創を生む食のエコシステムを構築することで、食の未来を東京から創るための活動を実施。

Food@tatemono.com

[Basque Culinary Center](#)ならびに[GOe-Gastronomy Open Ecosystem](#) (実施者)

GOe – ガストロノミー・オープン・エコシステム (Gastronomy Open Ecosystem) は、才能、知識、イノベーションを活用して、美味しい未来を創造するために、ガストロノミー (食文化) を通じて貢献。GOeは、Basque Culinary Centerが主導するプロジェクトであり、バスク政府の食品、農村開発、農業、漁業部門、ギプスコア県議会、そしてドノスティア・サン・セバスティアン市議会の支援を受けた共同戦略の一環。